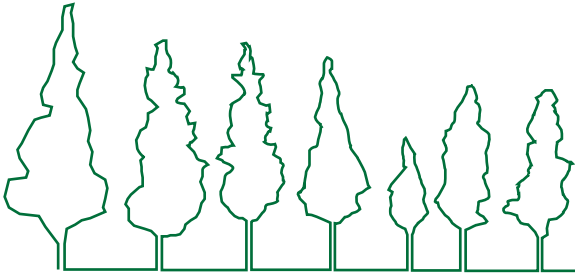




株式会社
ダイニチ

2 0 1 4



環境報告書



目次

ごあいさつ P.2

会社概要 P.3

環境基本方針 P.4

2013年度活動状況 P.5~P.6

環境負荷低減対策 P.7~P.10

地球温暖化・省エネルギー対策

省資源・廃棄物の削減

- 水資源の有効活用
- 廃棄物の削減

化学物質排出削減

環境関連商品 P.11



ごあいさつ

ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックの全従業員は、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。主力工場である滋賀埼玉両工場では、ISO14001 認証を取得しており、環境改善及び汚染防止に対する取り組みを推進しております。環境保全はもちろん、環境対応商品による、環境貢献と事業成長の一本化を実現する企業活動も積極的に展開しております。

また、再生可能エネルギーの活用による、環境負荷低減への取り組みの一環として、真岡工場の遊休地を利用した、太陽光発電による売電事業も行っております。私たちダイニックは理想のゴールを目指して一歩一歩確実に進んでおります。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取り組みを強化し、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。

環境保全に対応した企業として、より一層成長するためにも、皆様からの忌憚のないご意見、ご指導をいただければ幸いに存じます。



平成 26 年 8 月

ダイニック株式会社
代表取締役社長

大石義夫

会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION	
創立	1919年8月18日	
資本金	57億9,565万円	
株式	東京証券取引所一部上場	
売上高	284億円(グループ含み410億円)	(2014年3月31日現在)
従業員	618名(グループ含み1,494名)	(2014年3月31日現在)
本社	京都本社:〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111(代) FAX 075-313-2116	
	東京本社:〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811(代) FAX 03-5402-3146	
営業所	札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、台湾、シンガポール、米国、タイ、英国、中国(グループ含む)	
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、台湾、シンガポール、米国、タイ、英国、中国(グループ含む)	
関連会社	国内6社、海外9社	
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他(グループ含む)	



環境基本方針

【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことが製造メーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷を低減する。
- (2) 省エネ、廃棄物の減少に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質による環境を損なうリスクを予防する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社
代表取締役社長 大石 義夫

■環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー、廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境対応製品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

■地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、地球温暖化対策等のリスクへの対応により、地球環境との共生を目指して取り組んでいます。



2013 年度活動状況

●DBJ 環境格付評価ランクアップ

ダイニック株式会社は、平成 25 年 10 月、株式会社日本政策投資銀行が実施する「環境配慮型経営促進事業」融資制度の環境格付審査において、平成 24 年度の格付評価よりランクアップし、「環境への配慮に対する取り組みが先進的」という格付を取得しました。「DBJ 環境格付」は、日本政策投資銀行が開発したスクリーニングシステム（格付システム）により企業の環境経営度を評点化して優れた企業を選定し、得点に応じて融資条件を設定するものです。



当社は、平成25年10月日本政策投資銀行(DBJ)より環境格付融資を受け、格付結果は「環境への配慮に対する取り組みが先進的」と評価されました。



●太陽光発電システム

真岡工場の遊休地を利用として、太陽光発電システムが完成しました。再生可能エネルギーとして、近年注目を集めている「太陽光発電」については、以前から活用していましたが、今回の採用は、自社供給ではなく電力買取制度に基づいた売電事業になります。環境にもやさしい太陽光発電システム設置についての取組は、地域からも注目されています。



2013 年度活動状況

●LED 照明

各工場の天井照明を水銀灯からLED照明に順次変更してきていますが、さらに倉庫の照明もLEDに変更してきています。倉庫の照明をLEDにすることで瞬時に明るくなり、作業の効率化にも貢献しています。



●太陽光照明

滋賀工場のショールームの照明として太陽光照明を導入しました。太陽光照明は屋根面より太陽光を採光し、乱反射させることで柔らかい自然光を取り入れる照明装置です。電気エネルギーを使用しないため、CO2削減にも貢献しています。



●ゴミゼロ清掃活動

滋賀県では、環境美化の日（ごみゼロの日）と定める5月30日の前後の日に、県下一斉に清掃活動が実施されます。滋賀工場においても毎年地元多賀町の清掃活動に協力し、工場に隣接している国道306号線沿いの環境美化運動を実施しています。



● 2013年度 環境負荷低減対策 ●

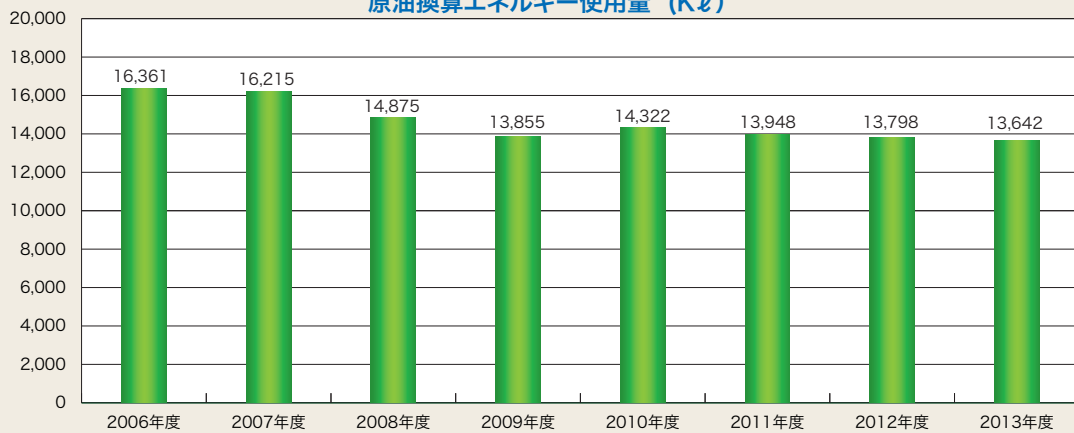


地球温暖化・省エネルギー対策

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、地球温暖化ガスであるCO₂を排出します。CO₂の削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組み、2009年度比で毎年1%削減を目標に掲げ、活動を展開しています。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明（水銀灯）のLED化、変圧器の高効率型への変更、空調機の高効率型への変更、コンプレッサーを集中型への変更、事務所照明をLEDに変更等を実施してきました。

2013年度の実績につきましては、エネルギー原単位、CO₂発生量ともに悪化し、目標を達成できませんでした。これは、エネルギー原単位への影響度合いの高い製品の生産量が減少し、それによりエネルギー効率が悪化したことによるものです。2014年度は、生産減に対応したエネルギー効率改善策を実施し、目標達成に向けて取り組んでゆきます。

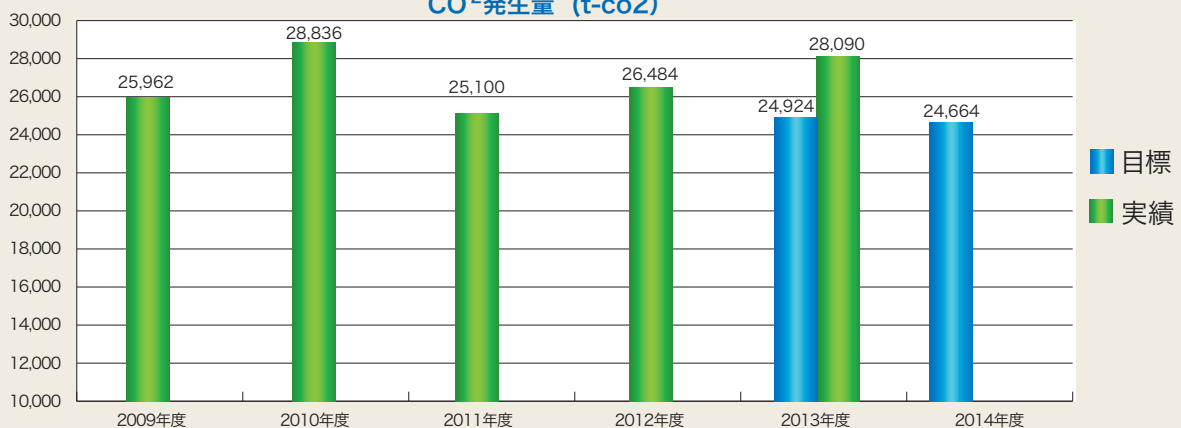
原油換算エネルギー使用量 (Kℓ)



エネルギー原単位 (ℓ/km)



CO₂発生量 (t-co2)

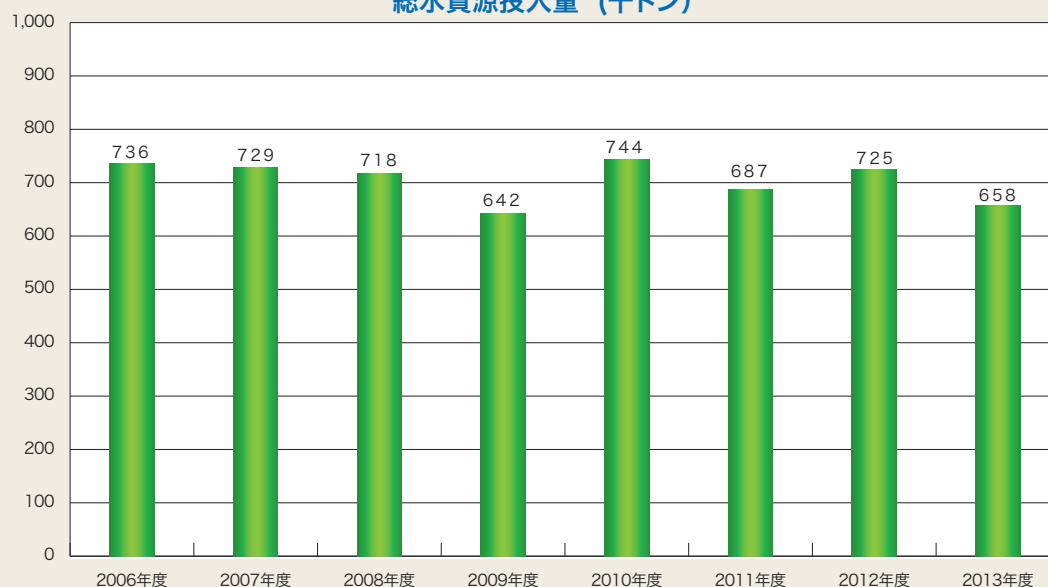


省資源・廃棄物の削減

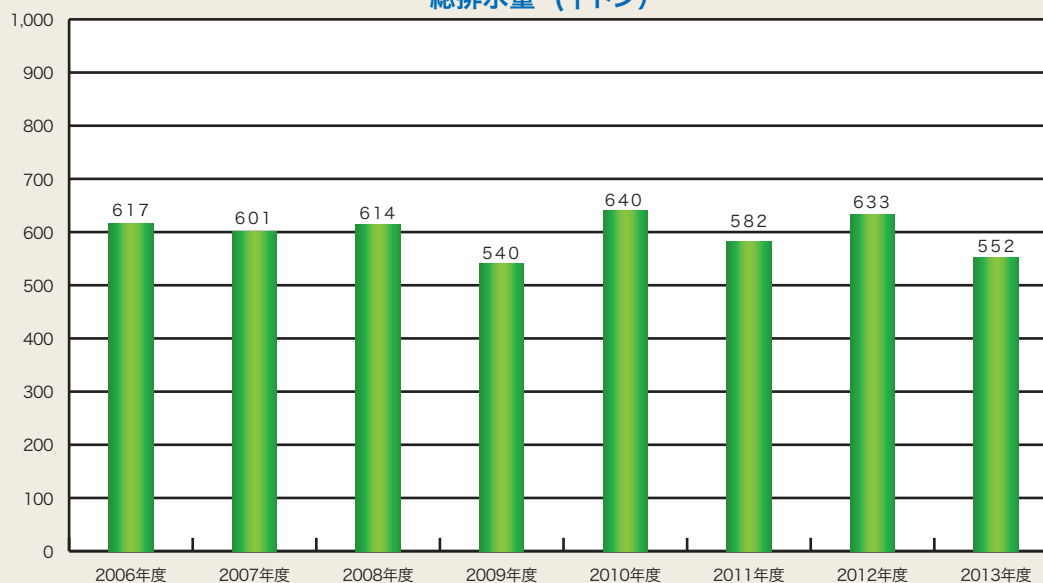
●水資源の有効活用

ダイニック全体で、水資源の有効活用にも取り組んでいます。生産工程では、使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進することで、総水資源投入量、総排水量の減少に取り組んできました。2013年度は2006年度比で総水資源投入量、総排水量ともに10%程度削減することができています。

総水資源投入量 (千トン)



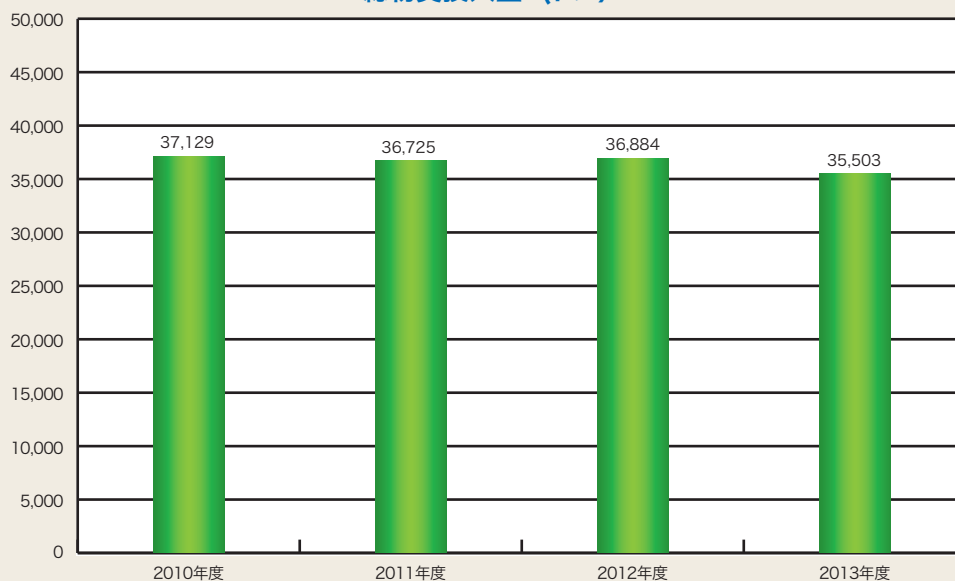
総排水量 (千トン)



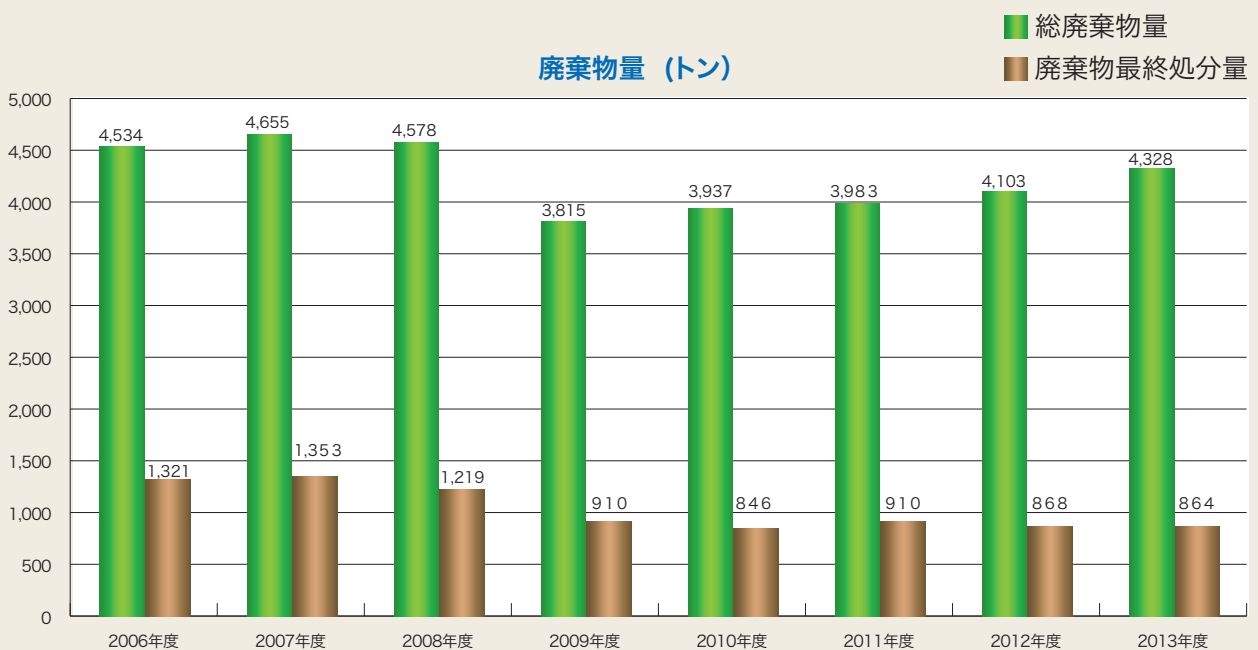
● 廃棄物の削減

地球環境保護のため、廃棄物の削減に取り組んでいます。取り組みは、廃棄物の総量を減少させるだけでなく、資源の有効利用の観点からも、リユース、リサイクルを進めてきました。総物質投入量も2010年度37,129トンに対し、2013年度は35,503トンと4.4%削減できています。総廃棄物量は2009年度以降多少増加傾向にありますが、廃棄物最終処分量は、リユース、リサイクルの推進成果で年々減少してきており、2013年度は2006年度比で35%減少させることができています。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)

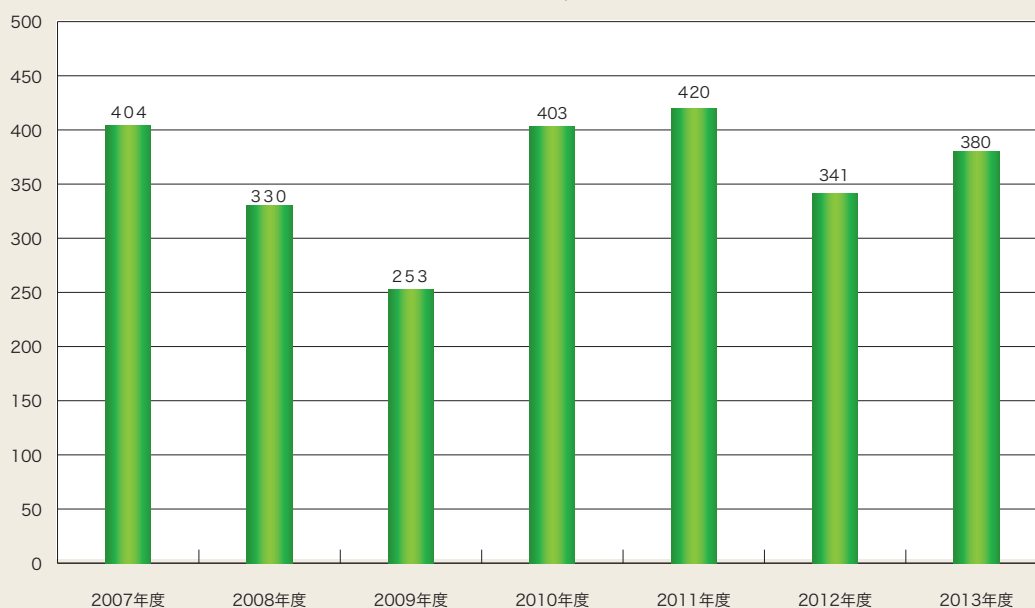


化学物質排出削減

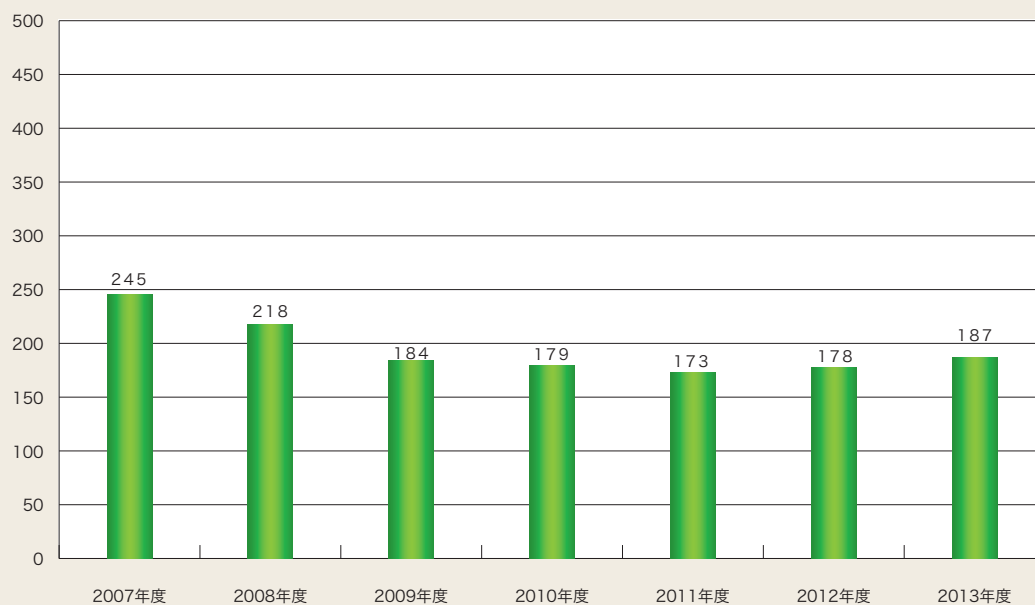
化管法に基づくP R T R制度に従い使用中の化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めてきています。

2013年度の総排出量、総移動量ともに2012年度実績より増加しました。これは、印刷製品増加により使用溶剂量が増加した影響によるものです。今後、総排出量削減のため、燃焼方式の装置導入を進める予定にしています。

総排出量 (トン)



総移動量 (トン)



環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。

当社では、「人の健康と地球環境へ配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

【環境負荷の少ない原材料を使用した商品】

＊ 脱塩ビ各種商品

紙刃、非塩ビファイル、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVAコンテナ等

＊ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

FSC認証紙クロス、トナーカートリッジ再生、リサイクルカーペット、エコマーク接着芯地等

【使うことで環境負荷を低減できる商品】

＊ 抗菌・消臭・防音機能を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス、抗菌包装材、不織布消臭シート、不織布床防音材、消臭・抗菌壁紙等

＊ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、空気清浄機用フィルター材、パップ材の離型フィルム等

【部品として組み込まれて、環境負荷低減に貢献している商品】

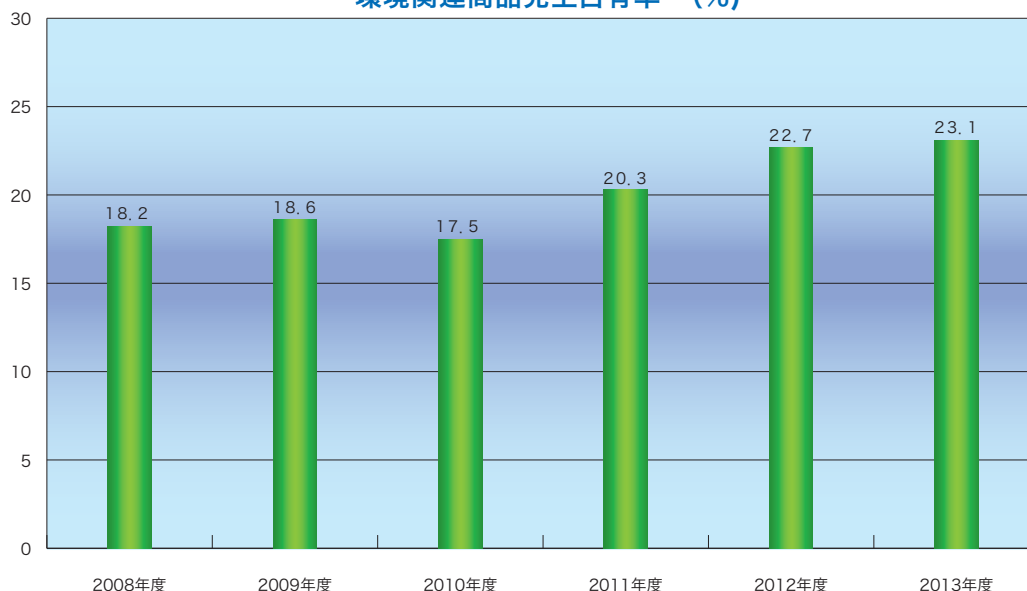
＊ 電子部品として組み込まれ、省エネに貢献している商品

有機EL用乾燥材

＊ 製造工程短縮に役立つ部材

車両座席固定用面状ファスナー材

環境関連商品売上占有率 (%)



これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。その成果として、環境関連商品の当社売上に占める比率は、2010年度以降年々伸ばすことができます。2013年度につきましても、2012年度に比べ0.4%伸ばすことができました。

さらに、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えており、皆様からの当社環境関連商品についてのご意見、ご要望をお聞かせいただければ幸いです。

『環境報告書2014』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2014年8月12日

